

Japanese Red Cross Takayama Hospital

# 高山赤十字病院紀要

(第42号) 2018年



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

高山赤十字病院紀要 第42号

平成31年3月1日発行

発行 高山赤十字病院  
〒506-8550 岐阜県高山市天満町3-11  
電話 (0577) 32-1111(代)

印刷 中京コピー株式会社  
〒461-0001  
愛知県名古屋市東区泉三丁目30番3号  
電話 (052) 931-2611

高山赤十字病院紀要

第42号

二〇一九年三月

巻頭言	清島 満	1
<b>臨床・症例検討</b>		
膀胱癌に合併した内分泌細胞癌混在癌と腺癌の同時性多発胃癌の1例	足立 尊仁・他	3
情動の形	大久保恒正・他	7
The shape of the emotion	大久保恒正・他	10
高齢者の下顎に発症した神経鞘腫の1例	今井 努・他	14
健診でのヘリコバクターピロリ抗体検査導入初期成績	田中かおり・他	19
<b>Special Report</b>		
高山赤十字病院経歴和思考	Zhai Si	23
<b>剖検検討会報告(CPC)</b>		
後腹膜腫瘍として発症した悪性リンパ腫の一例	上野 美佳・他	24
急性肺炎にて呼吸不全が悪化した間質性肺炎の1例	上谷 遼・他	29
全身性浮腫、汎血球減少をきたしたネフローゼ症候群の1例	児玉 一貴・他	34
<b>剖検記録</b>	平成28年(2016年)当院における病理解剖の現状	岡本 清尚・他 38
<b>抄録</b>	院内合同発表会記録	41
<b>業績・他</b>	各科業績記録	45

高山赤十字紀要  
JRC Takayama Hosp

高山赤十字病院

# CONTENTS

## 高山赤十字病院紀要 投稿規程

The shape of the emotion ..... T.OHKUBO et al. .... 10

- I. 本誌は年1回発行し、高山赤十字病院職員および関係者の論文等を掲載する。
- II. 投稿論文は未発表のものとする。原稿の採否は編集委員会が決定する。
- III. 原稿
  1. word形式で、A4版用紙1枚に40字x40行の横書きで作成する。
  2. 原稿の第1枚目に、論文題名、著者名、所属、和文抄録(400字以内)、索引用語(5個以内)を記載し、本文は2枚目から始める。
  3. 英文タイトル、著者名、所属、英文抄録(200語以内)の用紙を添付することにはこだわらない。
  4. 各章の標題は、大項目をI、II、III・・・、中項目を1. 2. 3・・・、小項目を1)、2)、3)のように記載する。
  5. 論文の長さ、図・表・写真の枚数は、制限することがある。
  6. 提出にあたっては、印刷版と電子メディアの両方を提出する。
  7. 共同著者に名前を挙げる人には、必ず事前に承諾を得る。
- IV. 図・表
  1. 各々の図(写真)・表は番号・見出しを付けて、本文にも挿入箇所を指定する。
  2. 図(写真)は鮮明なものを使用する。
  3. カラー印刷は、実費を徴収する。
- V. 査読
  1. 論文は査読制とする。
  2. 査読は、編集委員会が委嘱する当院職員もしくは、それ以外の専門科2名の査読者により、論文の独創性、論述形式の妥当性を審査する。採否は査読者の審査に基づき、編集委員会が決定する。
  3. 文章表記等については編集方針に基づき、編集委員が加筆、訂正を行う場合がある。
- VI. 文献
  1. 主要文献のみ、原則として20個以内とする。
  2. 本文の引用箇所<sup>1) 2) 3)</sup>のように肩番号をつけ、文末に一括して掲載順に記載する。
  3. 著者は2名までは併記し、それ以外は「他」「et. al.」と省略する。
  4. 雑誌は、著者名：論文題名、雑誌名 巻数：始頁—終頁、年号(西暦)の順に記載する。  
欧文雑誌名の省略はPub Medに従う。和文雑誌名は原則として省略しない。  
例：2) 橋本健一、柴田敏朗、他：低血糖脳症後に食行動異常が自制困難となった1型糖尿病の1例  
糖尿病 52：291—294、2009  
4) Yokoyama Y., Asano Y. et. al. : Familial Occurrence of Arteriovenous Malformation of the Brain  
J Neurosurg 74：585—589, 1991
  5. 単行本は、著者：章の見出し、編者名、書名、版次、発行者、発行地(都市名)、発行年(西暦)、始頁—終頁の順に記載する。  
例：5) 塩屋正道、安田一郎、他：膀胱癌に対するEUS-FNIによる腹腔神経叢ブロック、安田健治朗編、胆膵内視鏡診療の実際、日本メディカルセンター、東京、2009、227—232
  6. Webページは、サイト名、タイトル、URL、[アクセスした年月日]を記載する。  
例：7) 日本小児科学会、インフルエンザ脳症ガイドライン <http://www.jpeds.or.jp/influenza/influenza090928.pdf>、  
[accessed 2011年5月10日]